

2017年4月3日

各位

JXTGホールディングス株式会社

JXTGグループ発足式 役員挨拶について

本年4月1日のJXTGグループ発足に伴い、本日、当社（東京都千代田区）にて開催された発足式において、当社会長 木村 康、社長 内田 幸雄および副社長 武藤 潤から、グループ社員に向けて挨拶がありましたので、その要旨について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 木村会長挨拶

我々は、この経営統合により、「新しいステージ」に入った。このステージは、これまでよりも高いステージであり、また広がったステージである。このステージに登った今、高い志をもち、視野を拡げて、さらに高みを目指していきたいと考えている。そしてこのステージを充実させ、活かしていくのは社員一人ひとりの強い意志、努力、そして誇りである。加えて、何よりも緊張感をもって仕事を取り進めてほしい。

2. 内田社長挨拶

(1) JXTGグループ理念

今般の経営統合にあたり、我々JXTGグループはどうあるべきか、どうありたいかを議論し、「JXTGグループ理念」を定めた。この理念は、「使命」と「大切にしたい価値観」から構成されており、具体的には次のとおりである。

<使命>

地球の力を、社会の力に、そして人々の暮らしの力に。

エネルギー・資源・素材における創造と革新を通じて、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献します。

<大切にしたい価値観>

- ①社会の一員としての「高い倫理観」「安全・環境・健康」
- ②人々の暮らしを支える存在としての「お客様本位」
- ③活力ある未来の実現に向けての「挑戦」「向上心」

「使命」は、JXTGグループが社会に対して創造と革新を通じて付加価値を提供していく姿勢を表し、「大切にしたい価値観」は、JXTGグループ員が行動の基軸とすべきものである。

また、この「理念」を実現するための「行動基準」についても定めており、コンプライアンス、安全確保、環境保全、健康増進、人権尊重など14項目に及んでいる。これらは良識に照らせば「あたり前」のことであるが、改めて社員一人ひとりが心に刻んでおいてほしい。

(2) 経営統合の目的・問題意識

我々を取り巻く環境は大きな変化の中にある。政治・経済の状況、資源価格の動向、国内のエネルギー情勢等は当面不安定であり、予測が難しい状況が続くと考えられるので、ビジネスリスクを絶えず意識しておく必要がある。

エネルギー・資源・素材事業の分野においては、

- ・国内石油精製・販売事業において、燃料油内需の構造的減退およびグローバル市場での競争激化が見込まれ、
- ・原油、銅などの資源価格のボラティルな変動が見込まれ、そのリスクに耐えうる事業の構築が不可欠であり、
- ・その中で将来の成長を実現していかなければならない。

これに対処するには、相当の危機感をもって取り組まなければならないとの認識の下、今回の統合に至った。

エネルギー部門においては、単独ではなしえない事業改革を実行し、将来の成長戦略の展開に必要な収益基盤、事業構造を作り上げなければならない。これが今回の統合の目的である。グローバルな事業展開、IoTやAI技術も含めたイノベーションの推進、電気事業の拡大等の将来の成長戦略を推進していきたいと考えている。

(3) グループ社員への期待

ア. 新体制に軸を置いた行動・思考

JXグループ・東燃ゼネラルグループとも、それぞれに根付いてきた仕組み・体制・文化、それらを基盤とした成功体験が多く存在したと思うが、あくまで新体制にとって何がベストなのかを考え行動してほしい。このような心掛けの積み重ねが新たな企業文化を構築していく力になる。

イ. 3つの意識

当事者意識・プロ意識・変革意識を大切にしてほしい。とりわけ変革意識が大切である。事業環境が大きく変化している以上、我々も変わる必要がある。現状に固執せず、果敢にチャレンジしてほしい。

(4) 結び

本日、JXTGグループ始動のスタートラインに立つことができた。この統合を何が何でも成功させるべく、繰り返しになるが、変化を恐れず、心をひとつにして果敢に挑戦してほしい。

3. 武藤副社長挨拶

(1) 現状維持に対する危機感・継続的な改革推進

エネルギー事業分野においては、年々内需が減少しており、現状維持のままでは、事業規模の縮小、海外との比較におけるコスト競争力の低下により、危機的状況を招く。経営環境が絶え間なく変化している以上、継続的な改革推進を避けて通ることはできない。

改革の具体的な方向性は、5月に発表する中期経営計画で明確にする予定であり、この計画に基づき、各社、各部、さらには社員一人ひとりの具体的な取組みにまで落とし込んでもらいたい。

また、この取組みの進捗状況とその成果を「見える化」すれば、各自がしっかり理解のうえ相互に連携し、着実に次の取組みにつないでいくことが可能となる。こうした努力を積み重ねていけば、経営統合契約の締結時に発表した統合シナジー1,000億円、調整後連結経常利益5,000億円(2019年度)といった経営目標は必ずや達成できる。

(2) 新しい企業文化の創造

JXTGグループ理念において「大切にしたい価値観」として定めた「高い倫理観」および「安全・環境・健康」がすべての事業活動の基盤となる。この基盤の上に立ち、自由闊達な議論と対話をとおして新しい仲間との相互理解を深め、継続的な改善、新たな分野への挑戦を続けてほしい。また、多様性が尊重され、風通しのよい企業風土・ワークライフバランスのとれた働き方を確立してほしい。

(3) 結び

我々は、変革を先取りし、新しい成長と発展を遂げるためにJXTGグループとして船出した。「現状維持への危機感」を持ち、「継続的な改革推進」を怠ることなく、統合を成功させよう。

以 上